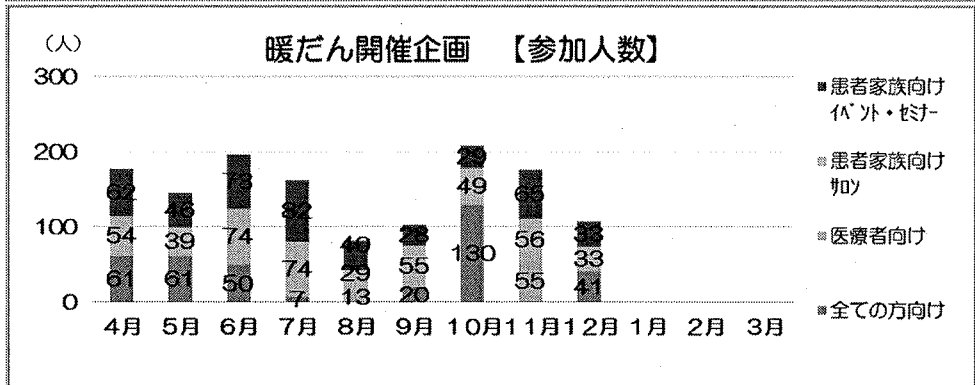
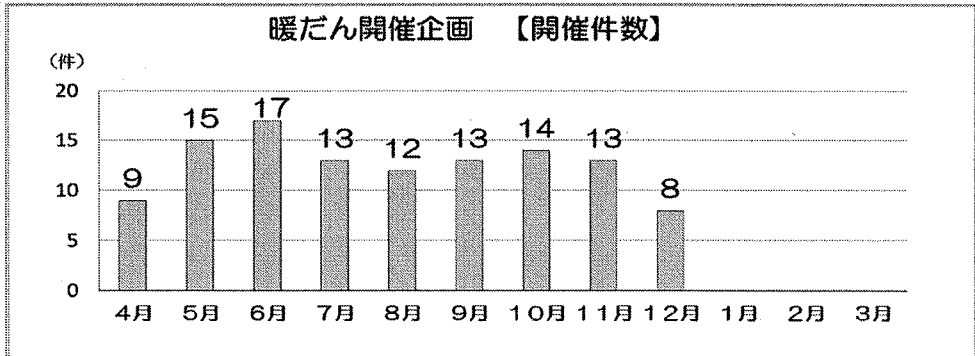
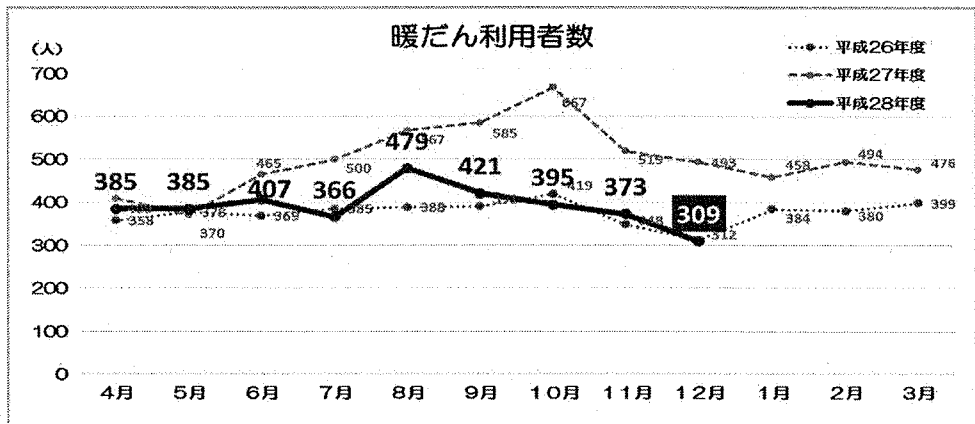


患者・家族総合支援センター 報告

利用者数

	H26	H27	H28
4月	358	409	385
5月	378	370	385
6月	369	465	407
7月	385	500	366
8月	388	567	479
9月	391	585	421
10月	419	667	395
11月	348	519	373
12月	312	493	309
1月	384	458	
2月	380	494	
3月	399	476	
総数	4511	6003	3520
月平均	376	500	391



2月のアドバイザー訪問日

場所：患者・家族総合支援センター
時間：13時～15時

☆ウィッグメーカー☆

- 2月 2日 (木) 東京義髪整形
- 9日 (木) スヴェンソン
- 14日 (火) アデランス
- 15日 (水) アートネイチャー
- 16日 (木) an

☆マンマ製品メーカー

2月28日 (火) 池山メディカル

毎週水曜は、就職・就労相談の日！

場所：患者・家族総合支援センター

☆毎週水曜日 10時～15時

ハローワーク松山による就職相談

就職・転職をお考えの患者さんに、ハローワーク松山就職支援ナビゲーターが無料で相談をお受けします。

☆毎月第3水曜日 10時～13時

社会保険労務士による就労相談

仕事と治療の両立について、社会保険労務士が無料で相談をお受けします。

対象の方にご案内下さい

わたしのがんカフェIN愛媛



開催日時：平成28年5月21日(土)
10時30分～16時
場所：エミフルMASAKI
相談コーナー：5名
語らいコーナー：11名

- ・がんカフェ（患者・家族の語り合いサロン）
- ・がん相談支援コーナー（治療、療養生活、医療費、就労など）

“自分らしく” 生き抜くために

がんになる前 なつてから

2016年
5/21(土) 10:30～16:00

くわしくは要項へ

エミモールIF
グリーンコート

トークショー 13:00～14:30
がんになる前 なつてから

● 松本 穂子 氏
● 谷水 正人 氏

Craft “ありがとう”の
アリーティングカードを作ろう！
ありがとうプロジェクト

Art 絵手紙展

エミモールIF
エミフルホールA

語らいコーナー
がんカフェ

がんカフェ、がんサロンって何？
初めての方もぜひご参加ください。

11:00～12:30
14:30～16:00

出張相談コーナー

治療や療養生活のこと、
がん相談支援スタッフがお答えします。

無料でご参加いただけます。

主催 愛媛県がん対策推進協議会
NPO法人わたしのがんnet
協賛 エミフルMASAKI
協賛 松山新聞社 F&M 松山
協賛 松山市 愛媛新聞社 NHK松山放送局

フォーラム がんと生きる

～ここから私らしく～

「がん」になっても自分らしく生き抜くために、治療の制作仲間、がんを抱える病みに寄り添う「支援療法」や「緩和ケア」があります。診療科からは「さまざまな治療」を紹介することが、治療そのものに効果があることも分かってきています。フォーラムでは最新の医療情報を交えながら、がんと生きる今人、そして医療者とも話合います。

参加者募集中

日時：2016年 7月3日(日)
開場：午後0時30分 開演：午後1時 終了：午後3時30分(予定)
※定員先着順

会場：松山市民会館 大ホール
住所：愛媛県松山市市場二丁目

定員：700名

交通：伊予鉄道無休館「市場二丁目」から徒歩約3分
伊予鉄道松山線「松山市場」から徒歩約10分
※公共交通機関をご利用ください。

主催 松山市民会館
協賛 MAM 松山新聞社 F&M 松山 協賛 松山市民会館 協賛 松山新聞社 NHK松山放送局
協賛 松山市 愛媛新聞社 NHK松山放送局

2016/11/05 国の取り組みと地域における就労支援の実状について アンケート集計

職種	年代	性別	6. 今回の研修で参考になったと思われるものを上位2つに○を付け、その理由をお書きください				回答した理由
			1) がん患者さんの就業支援に関する取組について、国の方針や活動の取組	2) 労働者による就業支援に関する取組	3) 労働者による就業支援に関する取組	4) がん患者さんの就業支援に関する取組	
企業	40代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	立場の違いで自分とは違った視点の意見が聞けてとても参考になった
企業	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	会社として就業についてのサポートはできていると思うが、国のガイドラインがある事を知らなかった。2人に1人はがんになる時代なので参考になった。グループワークでは具体的な事例があるので参考に。教育の手法が興味深い
企業	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	就労支援について全く知識がない中ででの参加であったが、講演を聞く中で就労支援の必要性、がん患者の失業を減らしていく活動が必要であるという理解ができた
企業	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	超高齢化社会に向けて、企業も真剣に考える時期に求めていると思う。また、社会貢献をする事が企業に求められていると痛感しました
企業	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	分かりやすかった
企業	50代	未記入	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	今まで身近な事であったが、関心が高かったが、講演を聞き、考える事、知る事ができた
社会福祉士	50代	未記入	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1) についてももう少し詳しく聞いてみたいと思いましたが、4) については現状がよくわかりました
医療以外その他	50代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	各立場での考え方の違いがよくわかりました。知らないことばかりだったので、とても勉強になりました

医療関係者以外

2016/11/05 国の取り組みと地域における就労支援の実状について アンケート集計

職種	年代	性別	6. 今回の研修で参考になったと思われるものを上位2つに○を付け、その理由をお書きください				回答した理由
			1) がん患者さんの就業支援に関する取組について、国の方針や活動の取組	2) 労働者による就業支援に関する取組	3) 労働者による就業支援に関する取組	4) がん患者さんの就業支援に関する取組	
看護師	30代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	国の政策は理解していたが、それが実際に、しかも医療者ではない方の働きがきけたこと。また、先生の声のきけたことがよかった
看護師	30代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	国の取り組みが十分にわかっていたが、実際に、しかも明日からできる支援について、ディスカッションする事で学びを深める事ができた
看護師	30代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	実際の事例を通して講義して下さり、イメージが湧きやすかった
看護師	40代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	それぞれの立場での支援についての共有の時間がもう少し長くあっても良かったと思う
看護師	50代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現在の状況や利用できる支援等の理解が少なかった
看護師	50代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	新しい知識を得る事が出来ました
リハビリケア	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	就労支援に取組まねばならない、Eビデンスを理解できました。実際のステップにも示すことができたので、とても参考になりました
リハビリ	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	制度を知れてよかったです
リハビリ	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ガイドラインの所在を知れた。国の取組、事例が分かりやすかった
リハビリ	40代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	取組まれている現状が聞けて良かった。立場の違いから意識が聞けてとても参考になった
医療その他	30代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ガイドラインの存在が知れた。私の職業において一番身近ながんセンターの活動が知れた
医療その他	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	産業医大柴田先生の話、とても興味深くて聞いてました。もっともっと聞いて勉強したいなと思わせてくれる程でしたので◎をつけました。また◎については仕エリアの実態が知れて結構論になりました
医療その他	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	知らない情報が沢山ありました
医療未記入	20代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	グループワークを通して、皆同じような思いを持って業務にあたっていていることを知りました
企業	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	多職種の方から新たな考えを伺うことができたこと
企業	30代	女	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	がんに関するいろいろな情報が、どんな時にどうできるのか、どうすればいいのかが、また自分がかかっていたらどう考えたらいいのかが、考えることができたので◎をつけました。また◎については「考えなかつた」は、はるかに越える経験でもあると思います
企業	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ガイドラインが出ている事を初めて知りました
企業	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	がん患者さんの就労支援に対しての国の取組、そして地方の取組について理解できた
企業	30代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援体制がある事を初めて知れたから、身近な所(がん)でも取組みがある事を知れたから
企業	40代	男	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	初めての内容でしたので、具体的な取組、状況等、他の職種の方々の意見も聞けてよかったです

医療関係者以外

愛媛県におけるがん患者就労支援のための教育体制構築の試み

青儀健二郎1、谷水正人2、宮内一恵3、清水弥生3、関木 裕美3、池辺琴映3、柴田喜幸4
 国立病院機構四国がんセンター臨床研究センター1、同内科2、同患者・家族総合支援センター3、
 産業医科大学産業医実務研修センター4

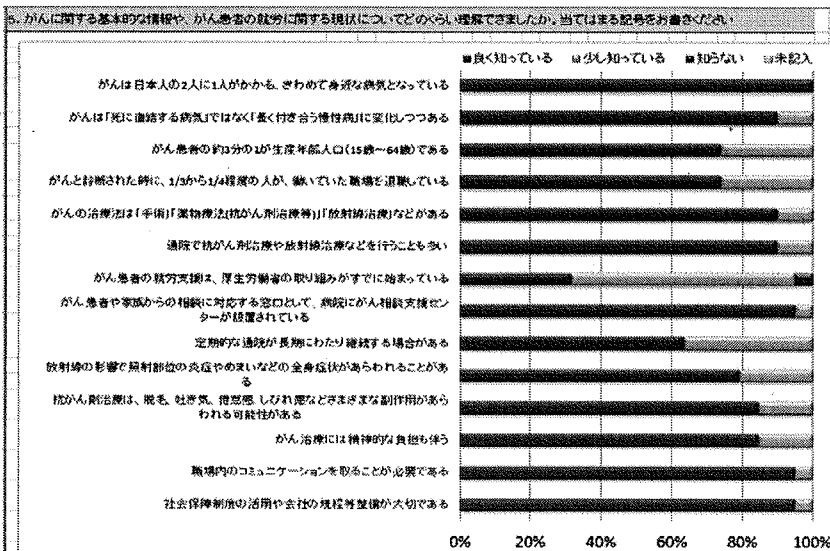
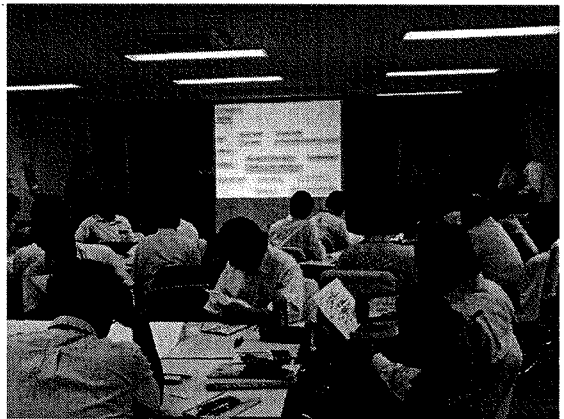
対象: 愛媛県内の一企業の管理者

目的: 情報共有、現状理解 & 就労支援可能な企業内の風土づくり

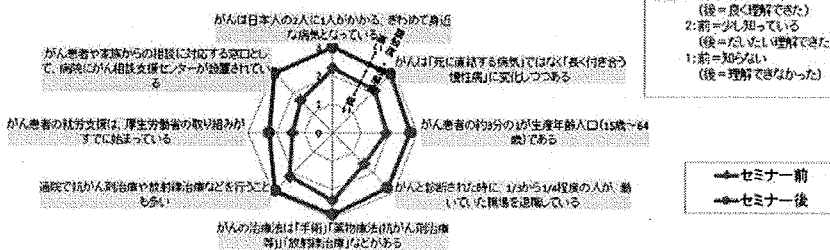
内容: 就労支援体制構築のためのセミナー企画(①導入 & ②実践)

1. がん統計およびがん患者の就労に対する国策、がん患者の日常生活を説明。
2. 就労支援に関する四国がんセンターの活動を中心に、愛媛県の「がん患者の就労支援」の概要を説明。
3. 映像教材は予習(東京都作成ビデオを使用)
 イメージビデオ「がんと仕事の両立～もしも、職場の誰かががんにになったら～」
4. 小グループによるKJ法を用いて、各店舗でがん患者の就労の問題点、具体的な対応内容について討論。各グループから討論内容について発表を行い、情報共有、問題点・対策を討議。対策は今後の課題として提示。
5. セミナーの内容についてセミナー前後に内容確認質問を行うことにより、就労支援についての理解度を確認。

①2016/8/3	企業ブロック長対象	19名
②2016/10/18	企業店長対象	43名



セミナー前後での変化 共通項目のみ (回答者の平均値にて比較)



がん患者の就労支援に関する理解が深まったことを確認。
 →2017年2月に九州地区ブロック長、店長に対する追加セミナー開催予定

具体的な活動に結び付けられるかが課題。



2017年5月に一連のセミナーの評価として、店舗各ブロックにおける就労支援対策の具体的な成果報告(具体的な改善点の確認)のための評価セミナーを開催予定。

上記とは別に愛媛県内の社会保険労務士対象に就労支援セミナー(2016/8/2)を実施 参加91名

愛媛県におけるがん教育への取り組み

- 平成26～28年度に文科省モデル事業として実施
 - 愛媛県がん診療連携協議会およびがん患者会から講師を派遣し、平成26年度：高校3校、中学校3校、小学校1校、特殊学校1校、平成27年度、28年度：高校1校、中学校3校でモデル授業を実施した
 - 小中高校におけるがん教育内容を整理し、愛媛県版がん教育教材を開発した

2014/02/06 がん相談支援センター

愛媛県がん診療連携協議会

お問い合わせ サイトマップ



愛媛県がん診療連携協議会会長あいさつ

愛媛県がん診療連携協議会について

専門部会について

協議会・専門部会の参加について

トップページ 専門部会について がん相談支援専門部会 活動実績 議事録

専門部会について

がん相談支援専門部会：活動実績
議事録

平成28年度

- [第2回がん相談支援専門部会2016.12.3\(PDF:89KB\)](#)
- [第1回がん相談支援専門部会2016.7.23 \(PDF:115KB\)](#)
- [第1回がん相談支援専門部会活動実施報告書2016.5.21\(PDF:451KB\)](#)
- [第1回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.7.9\(PDF:724KB\)](#)
- [第1回がん相談員研修ワーキング議事録2016.5.24 \(PDF:299KB\)](#)

平成27年度

- [第2回がん相談員研修会活動及びアンケート調査報告書2016.2.26\(PDF:641KB\)](#)
- [第2回がん相談支援専門部会2015.12.5 \(PDF : 191KB\)](#)
- [第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.11.12 \(PDF : 271KB\)](#)
- [第1回がん相談支援専門部会2015.7.25 \(PDF : 280KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2015.7.7 \(PDF : 255KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.6.26 \(PDF : 176KB\)](#)

平成26年度

- [第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2015.2.26 \(PDF : 266KB\)](#)
- [サロン交流会・検討会2015.2.10 \(PDF:142KB\)](#)
- [第2回愛媛県がん相談員研修会報告2015.1.16 \(PDF : 295KB\)](#)
- [第2回がん相談支援専門部会2014.12.6 \(PDF : 438KB\)](#)
- [第2回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.11.11 \(PDF : 195KB\)](#)
- [第1回がん相談支援専門部会2014.8.2 \(PDF : 165KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2014.7.8 \(PDF : 274KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.4.22 \(PDF : 192KB\)](#)

平成25年度

- [第3回愛媛県がん相談員研修ワーキング2014.3.11 \(PDF : 174KB\)](#)
- [第2回がん相談員研修会活動報告2014.1.21 \(PDF : 202KB\)](#)
- [第2回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.12.7 \(PDF : 247KB\)](#)
- [第2回がん相談員研修ワーキング打ち合わせ2013.11.15 \(PDF : 111KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん診療連携協議会分科会2013.7.27 \(PDF : 260KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修会活動報告2013.7.19 \(PDF : 222KB\)](#)
- [第1回愛媛県がん相談員研修会2013.6.18 \(PDF : 147KB\)](#)

専門部会について

がん地域連携専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

緩和ケア専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

愛媛県緩和ケア研修会PEACE

がん相談支援専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

議事録

抄録・学会報告・冊子等

セミナー・研修会

がん登録専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

がんの集学的治療専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会

がん看護専門部会

活動方針・目的

年度計画

活動実績

セミナー・研修会



愛媛県がん診療連携協議会
参加施設のご紹介

平成 28 年度 第 1 回 愛媛県がん相談員研修ワーキング 議事録

作成日：平成 28 年 5 月 25 日

日時	平成 28 年 5 月 24 日 (火) 14:00~17:15	司会	篠原
場所	四国がんセンター 暖だんミーティングルーム①	書記	和田
参加者	植見美幸 (愛媛大学医学部附属病院)、武田千津 (愛媛県立中央病院) 毛利貴子 (市立宇和島病院)、関木裕美、篠原瞳、福島美幸 (四国がんセンター) 和田美恵子 (住友別子病院)		

- 協議内容
1. 新メンバー紹介
今年度よりメンバーを交代し、以下の 2 名が選出された。
福島美幸 (四国がんセンター)、和田美恵子 (住友別子病院)
 2. サブリーダーの選出
今回参加できなかったメンバーもあることから今回の選出は見合わせた。
 3. 業務分担
昨年度の業務分担からの変更は以下の 2 つである。
ワーキング議事録 (和田)
「認定がん専門相談員」Ⅲ詳登録申請書/研修実施報告書の作成 (小野)

	業務内容	担当者
リーダー	WG 開催業務調整、WG 司会進行、協議会での活動報告	篠原
サブリーダー	リーダー補佐、リーダー不在時の業務代行	篠原
メンバー	マニュアル、記録の保管、原直し、改定	和田
	WG 議事録	毛利
	研修会活動報告書	武田
	研修会アンケート集計	小野・篠原
	血群登録申請書/研修実施報告書	四国がんセンター
	ホームページ掲載依頼	

4. 平成 28 年度活動計画について
WG リーダーより平成 28 年度活動計画案が示された。
研修登録申請手続き等かなり逼迫したスケジュールになるもの、昨年度同様に相談員研修会を年 2 回開催し、7 月 (7/9) と来年 2 月 (2/25) を予定とした。
2 月の開催場所は愛媛県立中央病院とする。
WG の開催については日常業務への負担を勘案し、可能な限り部会開催日に開催することとした。
5. サロン担当者交流検討会のアンケート調査報告
サロン WG リーダーより各サロンの現状把握ができたこと報告があった。(配布資料参照)
今後のサロン担当者交流・検討会のあり方について検討をしている。各機関により運営方法が異なるため意見交換が難しいこと、また、サロン担当者の研修会について開催を希望する意見が多いが、企画調整が必要と考えられた。
6. 平成 28 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修会について

相談支援を行う上で情報の伝え方やコミュニケーションを課題とする意見が多く、引き続きコミュニケーションをテーマに企画した。

限られた時間内での研修効果を考慮し、ロールプレイを中心にグループワークを行うことが決定した。

- 1) 開催日時：平成 28 年 7 月 9 日 (土) 13:20~16:30
- 2) 場所：四国がんセンター
- 3) 研修において解決しようとする課題：
県内のがん相談員はジョブローテーション等があり、経験年数が浅く、がん相談員基礎研修の未受講者が増えてきている。相談業務遂行に必要なコミュニケーションスキル、アセスメント能力を習得する必要があると考えている。
- 4) 研修目的：
 - ・患者・家族支援におけるコミュニケーションスキルの向上を目指す。
 - ・相談場面を想定した事例を通して、相談支援のプロセスを再考できる
- 5) 学習 (到達) 目標：
 - 相談者の『生活者としての人間像』を捉え、真のニーズを把握しアセスメントができる。
- 6) 対象：県内のがん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院のがん相談員 20 名程度
- 7) 対象設定の理由：愛媛県内の拠点・推進病院におけるがん相談支援に携わる者すべて連携強化と相談支援機能強化、がん相談の質向上を図る為。
- 8) プログラムの詳細：

時間	内容	担当
12:30~13:00 (30)	ワーキングメンバー打ち合わせ	
13:00~13:20 (20)	受付	
13:20~13:25 (5)	オリエンテーション	司会・進行 和田
13:25~13:35 (10)	自施設の PR ポイント・ニュースの紹介	
13:35~13:45 (10)	自己紹介・アイスブレイク	福島
13:45~14:00 (15)	ミニレクチャー (相談支援の役割について)	和田
14:00~14:05 (5)	グループワーク・ロールプレイについて説明	患者：毛利・小野・関木 7/9: 植見・武田・篠原
14:05~14:35 (30)	グループワーク①	
14:35~15:00 (25)	グループ内共有 R-47/14 による相談内容の確認と整理	
15:00~15:10 (10)	休憩	
15:10~15:30 (20)	グループワーク②	
15:30~16:00 (30)	グループ内共有・まとめ	
16:00~16:20 (20)	全体共有 グループごとに発表し共有する	
16:20~16:30 (10)	まとめ	植見
16:30~16:35	アンケート記入	
16:35~17:00 (25)	ワーキングメンバー反省会	

- 1) 方法
 - ・グループ編成：1 グループ 3~5 名とし、3~5 つのグループを作る。

2) 平成 28 年度第 2 回がん相談員研修会内容について 第 1 回の開催内容から検討していくことが決定した。	担当者/機関	備考
3) 役割分担		
血群登録申請書/	小野 (篠原)	開催 2ヶ月前までに提出
研修実施報告書の作成・提出		
公文書 2 種類: WG なが-宛、拠点推進病院四国がんセンター事務局	四国がんセンター事務局	※2ヶ月前
施設長宛一郵送	四国がんセンター事務局	※約 2ヶ月前
拠点推進病院施設長宛案内文書:		
研修案内 要綱、参加申込書一郵送	四国がんセンター事務局	参加申込切※約 1ヶ月前
協議会メールで拠点推進病院にお知らせ	篠原	※約 1.5ヶ月前
参加者のまとめ	四国がんセンター	
参加者のグループ分け	篠原	
ミニレクチャー資料	福島	
文房具類: 横断紙、付箋、マジック等	四国がんセンター	
会場整備: スクリーン・マイク・PC・	四国がんセンター	
受付用名簿、名札 (WG なが、参加者)、		
案内板等		
配布資料 (ミニレクチャー資料、事例、参加者名	四国がんセンター	
簿、アンケート調査)		
受講証明書	四国がんセンター	
アンケート集計	武田	
活動報告書	毛利	
配布資料	<input type="checkbox"/> 平成 28 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修ワーキング議題 <input type="checkbox"/> 相談員研修 WG 平成 28 年度活動計画 (案) <input type="checkbox"/> 愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会がん相談員研修ワーキング実施要綱 <input type="checkbox"/> 「認定がん専門相談員」Ⅲ群登録申請書 兼 兼週計画書 (平成 27 年度 第 2 回開催分) <input type="checkbox"/> がんサロン担当者・交流検討会開催事前アンケート 平成 28 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修会について(打ち合わせ)	
次回検討事項	場所: 四国がんセンター	
次回開催日: 平成 28 年 7 月 9 日 (土)		

活動報告書

記載者: 毛利貴子

I. 活動区分

地域医療者向け研修支援

II. 企画概要

- 企画名
平成 28 年度第 1 回愛媛県がん相談員研修会
- 主催
愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会 がん相談員研修ワーキング
- 目的

- 患者・家族支援におけるコミュニケーションスキルの向上を目指す
- 相談場面を想定した事例を通して、相談支援のプロセスを再考できる

- 日時
平成 28 年 7 月 9 日 (土) 13 時 20 分～16 時 30 分 (受付 13 時～)

- 対象
がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院のがん相談員

- 場所
四国がんセンター 地域医療連携研修センター3階 研修室①②

- 内容
〈学習目標〉
相談者の『生活者としての人間像』を捉え、真のニーズを把握し、アセスメントができる

- 挨拶 (同会進行、ファシリテーター・協力員)、本日のプログラム、学習目標他の説明
- 自施設、自部署の PR、最新ニュース紹介
- 自己紹介・アイスブレイク
- ミニレクチャー 相談支援のプロセスについて (四国がんセンター 社会福祉士 福島美幸氏)
- ロールプレイ面談
- グループワーク ①: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう

- 相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう
- 全体共有
- 本日の振り返り、まとめ (愛媛大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 塩見美幸氏)
- アンケート調査

- グループワーク ②: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ③: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ④: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑤: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑥: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑦: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑧: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑨: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑩: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑪: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑫: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑬: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑭: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- グループワーク ⑮: コミュニケーションスキルを用いて相談内容を把握しよう
相談者の生活背景を考え、人間像について話し合ってみよう
相談支援のプロセスを通して、相談者のニーズを把握できているかをグループで考えよう

- ・各グループの力量を考え、司会・書記などは経験年数や管理経験などを配慮する必要がある。
- 3. 研修の運営について
 - ・今回は初めて土曜日の開催だったが、受講者数は12名で、平日の開催とほぼ同数の参加となった。
 - ・当日の不参加者があり、急遽グループを再編成する必要があった。
 - ・実践に近い内容や場面を想定した為、参加者が積極的に関与ができたと思われる。
 - ・今回2名のアンケート回収ができていなかった。今後回収方法を検討する。

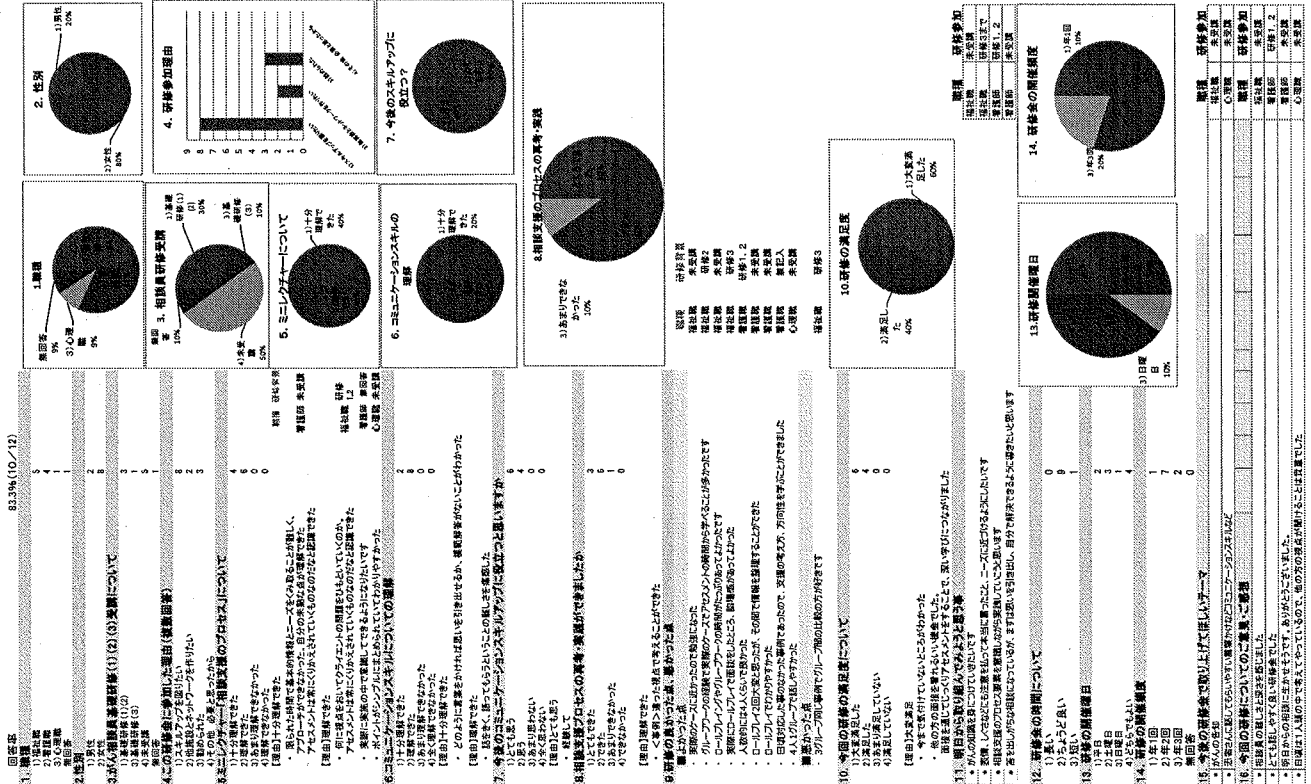
IV. アンケート調査集計 *詳細は添付資料参照

- 参加者背景
 - ・がん相談員基礎研修未受講者は、12名中9名(75%)と今迄で最も多く、相談業務経験も1年以内が7名(58%)と経験の少ない参加者が多かった。その為参加理由も、回答者10名中8名がスキルアップを求めたと答えている。
- 研修目的の理解・満足度
 - ・「コミュニケーションスキルについての理解」では、「できた」「十分できた」と全員が答え、「今後のコミュニケーションスキルアップに役立ちますか」では、「とても思う」と80%が答え高評価であった。
 - ・「相談支援プロセスの再考・実践ができましたか」では、「できた」「とてもできた」と90%(9名)が答え、その理由として「事例のロールプレイで、違った視点で考えることができた」との回答があった。
 - ・研修満足度では、「大変満足」「満足」でそれぞれ6名、4名(計100%)が満足と答えたが、過去3回の「大変満足」の回答は、8%、67%、79%であり、今回は低値となった。大変満足の原因として、「今まで気づけていなかったことへの気づきがあった」「他の人の面を見られるいい機会」「面接を見ながらじっくりアセスメントらしい学びに繋がった」との回答があった。
 - ・良かった点の記載が多く実際の面談場面で臨場感あり、そのアセスメント時間から情報整理し学びに繋がったとの回答があった。研修時間、グループ人数、方法とも満足との意見であった。
- 今後の研修への希望
 - ・今回初めて土曜日開催としたが、今後の開催曜日は、「どちらでもよい」が40%、「土曜日」が30%、「平日」が20%の結果となった。研修時間、回数とも現状希望が多く、内容は「がん告知」と「話してもらいたい言葉がけなどコミュニケーションスキル」の希望があった。
 - ・意見・感想として、「相談員の難しさや深さを感じた」「答えを出しがちな相談になっているが、まずは思いを引き出し、自分で解決できるように導きたい」「表情やくさにも注意を払い、ニーズに近づけるようにしたい」との回答があり、研修を通して相談支援者としての姿勢や支援の考え、導き方など其々の学びを得ていた。

V. 今後の展望

- ・今回ロールプレイ面談やグループワークを通して、相談支援のプロセスの理解を深めることに高評価を得ることができた。またアンケート調査でも満足度が高く、年2回の研修を希望する声は多い。今回の参加者は、がん相談員基礎研修未受講者が75%と今迄で最も多く、その経験も2年以内が75%と、経験の少ない参加者が増え、相談業務の基礎研修としての位置づけを配慮した研修企画が必要と考える。これらの事から、相談員研修の必要性は大きいと考え、愛媛県の相談員の質の均てん化の一助となれるよう今後も工夫しながら企画・実施していきたい。

平成28年度 第1回がん相談員研修 アンケート調査 (平成28年7月9日)



がんになる前 なる前から ～自分らしく生き抜くために～ 実施報告書

記載者：愛媛県がん診療連携協議会
がん相談支援専門部会 関本裕美

1. 日時
平成 28 年 5 月 21 日(土曜日) 10 時 30 分～16 時 00 分
2. 場所
エミフル MASAKI エミモール1F グリーンコート&エミフルホールA
3. 趣旨
2人1人が、がんになると言われ誰もが他人事ではいられない今、子供から高齢者まで一輩に会し、がんになっても自分らしく生きることについて考えてもらう催しを目標とした。
4. 主催 愛媛県がん診療連携協議会 NPO法人わたしのがんと

5. 内容

【エミモール1F グリーンコート】

- ① トークショー(がん当事者、医療者による) 時間:13:00～14:30

テーマ:がんになる前 なる前から

内容:がん当事者の思いを発信すると共に、がん相談支援センターの啓発を行った。

参加者:80 名程

- ② ありがとうプロジェクト 時間:10:30～11:30,11:30～13:00,15:00～16:30

内容:病気になる前でも、どんな時でも「ありがとう」を伝えることはとても大切で意味が大きい。このプロジェクトでは感謝を考え、ありがとうカードを作るワークショップ。ペーパークラフト、スタンプ、マスキングテープなどを用いて「ありがとう」カードを作った。2歳ぐらいの小さなお子様から高齢者の方、がん当事者、がんで家族を亡くされた方などにご参加いただき、カードづくりをしながら、思いを語り合う場となった。

参加者:50 名程

③ がん相談支援センター啓発コーナー

内容:愛媛県内のがん相談支援センター、各拠点病院のサロン活動のご案内などを最初に置き、自由に資料をお持ちいただいた。

- ④ “今できること生きても” 宮崎配代子の絵手紙展 時間:10:30～16:00

内容:苦しみも悲しみもすべて心の宝になると生きることの大切さを綴った宮崎配代子さんの絵手紙を通じて、観る人の心に希望をお届けした。

【エミフルホールA】

語らいコーナーがんカフェ&出張相談支援コーナー 時間:11:00～12:30,14:30～16:00

内容:お茶を飲みながら、同じ病をもったがん当事者同士、ご家族などの語らいの場を設けて思いを語り合う。また、がん相談支援センターの相談員が悩みや心配事の相談を受けた。

参加者:相談コーナー 5名、語らいコーナー 11名

6. 今後の展望

当日は、がん相談支援センターのPRとして、のぼり旗を会場エミフルホールAの入口前に設置し、横断幕を会場内に取り付けた。さらに、風船や生花を配置し、語り合いや相談のしやすい雰囲気作りを心がけた。

相談コーナーは、2ブース設け、看護師と医療ソーシャルワーカーの2名で対応し、5名の相談者が来られた。午前の相談が4名と多く、開始前から待たれていた方もいた。なお、一般の方より、検診の資料を要請する声もあつたため、県内の検診機関の情報が分かる資料を準備しておくが良い。

一方、語り合いサロンは、ピアサポーターが進行し30分程度の語り合いで出入りのあるサロンとなった。参加者は、がん経験者と語り合いという目的で来られていた。また、相談の順番待ちの間、ピアサポーターの配慮で、待ち時間を一人で過ごされることのないよう、ピアサポーターが同席し、お茶を飲みながら語れる場となった。

また、相談支援センターのPR活動は、相談員が法被を着て、イベントやがん相談支援センターのチラシを配布した。中には、『こういう相談ができる場所があるのは嬉しい』と立ち止まり、相談員と立ち話をされる方もいた。広

く一般者へチラシ配布を行うことで、相談できる場所があることを市民に知ってもらえる機会になった。

県内の相談員やピアサポーターが協同してショッピングセンターで開催したイベントは初めての事であったが、各担当者が協力しあい、滞りなく活動を終えることができた。これを機に、今後も県内のがん相談支援センターやサロンの周知活動を継続していきたい。

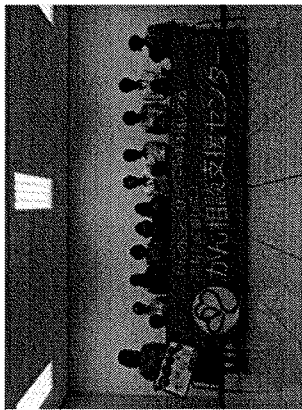
【当日の様様】



【「がん検診で早期発見を 松前 経験者ら呼び掛け」
2016年5月23日付愛媛新聞(掲載許可番号:G20171001-03273)】



当日の様子【エミフルホール】語り合いサロン、相談コーナースタッフ集合



「がん相談支援専門部会」議事録

日時	平成 28 年 7 月 23 日 (土) 13:00~14:25
場所	四国がんセンター 休憩室
記録	高橋 (HIITO 病院)
議 事 要 旨	
<p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 部長挨拶 灘野成人医師</p> <p>3. 副部長挨拶 塩見美幸看護師</p> <p>4. 新規施設部会員自己紹介 済生会松山病院、市立八幡浜病院</p> <p>5. 情報提供</p> <p>1) 第 7 回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告 (塩見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターの活動における PDCA サイクルの確保 ・岡山県がん相談支援部会における取り組みの紹介 ・熊本地震、被災時の相談支援センターの役割 ・がん情報サービス「大規模災害に対する備え」 ・がん相談支援センター相談員基礎研修紹介 ・がん相談支援センター相談員のためのガイドブックのご案内 ・がん相談支援センターに関する苦情例紹介 <p>2) がん相談支援センターが担うべき役割に関するアンケート集計結果報告 (大西)</p> <p>4 施設より 11 件の報告があり国がんへ報告を行った。 内容については、配布資料参照</p> <p>6. 各ワーキンググループの活動報告</p> <p>1) サロン担当者交流・検討ワーキング (関木)</p> <p>① サロン担当者交流会・検討会 アンケート報告 今後のサロン担当者交流検討会開催の参考のため実施。8 施設より回答あり。内容については、配布資料参照</p> <p>② 第 5 回サロン担当者交流・検討会開催内容についての検討 各施設からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターとの協働について検討したい。満足度調査を再度実施予定。病院主導の広報では患者に届いていないこともあると聞いたので、患者さんやご家族と一緒に考えたい。グループワークをするのであれば何か自分たちからテーマを持ち込んでできれば良い。院内広報 (各病棟看護師から患者さんへ) を検討していきたい。 ・認定看護師がピアサロンを計画しているの、次回より参加希望あり。 ・次回初めてピアサポーターの協力を得る予定。患者さんやご家族の反応を見ていきたい。院内、院外への広報について考え、必要な方に来ていただけたら良いようにしたい。 	

・今年度よりミニ講座を設け、病院職員（認定看護師や地域連携職員）が情報提供する場を設けている。内容が難しいと感じることがあるので情報を共有していきたい。

・新規の方も増えている。必要な方に知ってもらいたいので病棟から声をかけてもらっているが、なかなか参加者が集まらないこともある。医療スタッフ（リンクナース）への周知活動を強化し、患者さんへ伝わるようにしている。

・参加者が集まらないことがあったため、茶話会のみや笑いヨガだけへの参加でも良いようにし、参加者が増えてきているが、広報については難しさを感じる。

※次回は、テーマを決めたグループワークを実施予定とする。

開催予定：平成29年2月10日（金）午後

ピアサポーターもオプザバーとして参加できるように調整する。

③愛媛県ピアサポーター養成研修会

平成28年9月3日4日9:30~16:30 予定

チラシができれば各医療機関へ配布するので周知

④サロン開催の広報

喉だんこのホームページに掲載中

⑤「わたしがんカフェ」活動報告

平成28年5月21日（土）エミフル松前にて実施

トークショー、語らいコーナー、出張相談コーナーの開設

参加者は、語らいコーナー11名、出張相談コーナー5名

2) 広報活動ワーキング（大西）

①広報活動報告「わたしがんカフェ」

②愛媛県がん相談支援センター広報チラシの作成報告

協議会のホームページに掲載する予定。今後各施設でも活用を

一般の方の目に留まるところに貼っていくことを予定

③広報についての検討

・行政とタイアップを検討したい。

・メディアPRを検討したがコストがかかり予算をかけられないので難しい。

・松本氏よりリレー・フォー・ライフへ参加提案あり。「広く一般の方知っていただくよりも患者家族に伝わっていないのが問題。チラシを外来診察時のクリアファイルに入れることを検討できないか」との指摘。がん患者以外の方がいる医療機関では難しいかもしれないが、患者、家族への広報をまずは考えてほしい。

④ワーキングメンバーの把握ができていないのでメールにて確認予定

⑤チラシ以外でがん相談支援センターのPR方法があれば提案してほしい。

3) がん相談員研修ワーキング（篠原）

①平成28年度第1回がん相談員研修会の報告

・平成28年7月9日（土）実施済 参加者12名

・コミュニケーションスキルの向上、相談支援のプロセスを重視し、実際の面談に近い形でのロールプレイ後、グループワークで振り返りを行った。

・他者の面接を見る機会はないので、視点の違いや気づき等学びを得ることができたとの意見が得られた。

・今後は、経験年数1年未満の方が増加しているのを、基礎的なところを研修に盛り込む予定

・アンケート結果は協議会のホームページに掲載予定

②次回研修会のお知らせ

平成29年2月予定

7. 今後の活動についての提案

・PDCAサイクルの活用をどうしていくのか。

⇒4つ目のワーキンググループとしてチェックリスト作成ワーキング（仮）を立ち上げ塩見氏が代表として活動をしていく。

・ワーキングメンバーは、後日メールにて確認する

8. その他

がんサポーターブックえひめ 追加2施設（済生会松山病院、市立八幡浜病院）については、別紙をコピーし、差し込むこととする。

以上

「がん相談支援専門部会」議事録

日時	平成28年12月3日(土) 13:00~14:50
場所	四国がんセンター 地域医療連携研修センター3F体適室
記録	樽淵 (十全総合病院)
議 事 要 旨	
1. 開会挨拶	
2. 部長挨拶	
3. JCIP (日本がん情報パートナーシップ) について	<p>JCIPと「愛媛県がん情報提供ワーキンググループ計画」について、がん登録専門部会寺本部会長より説明あり。がん登録情報の新たな活用方法として、がん患者・国民向けに、適切かつ適度な内容と量で情報提供を行なうホームページを作成する試み。作成にあたり、がん相談支援専門部会に協力要請あり。まずは、県内の全拠点病院のデータを利用し、コアグループ (各拠点病院から1名以上人選するなどして構成) が作成。その後、全体のワーキンググループの活動報告</p>
4. 各ワーキンググループの活動報告	<p>1) がん相談員研修ワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第2回がん相談員研修会を平成29年1月14日(土)に愛大で行なう。 ・がん相談支援センター相談員指導者研修が、来年度に国立がんセンターで開催予定。各県から3名1組で参加可能であるため、人選し参加の方針。 <p>2) サロン担当者交流・検討ワーキング</p> <p>第5回がんサロン担当者の交流・検討会を平成29年2月10日(金)に四国がんセンターで開催する。開催内容案 (添付資料参照) について検討・承認された。</p> <p>3) 広報活動ワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年活動報告 (添付資料参照) ・今後の活動方針について、拠点・推進病院担当者へのアンケート結果 (添付資料参照) を元にワーキンググループで検討。相談支援センターを知ってもらうためのチラシを、効果的な場所に設置する。チラシを見直す。年3回を目標に、継続的に地域のイベントに参加し、出張相談ブースを設ける (病院単位での輪番制を予定)。 ・広報活動ワーキングに参加していない病院もあるため、協力を要請。 ・琉球大学医師の研究活動 (がんサポートブックの改定が毎年出来る組織作り) が、来年度の事業として承認されれば、愛媛県が共同研究者として参加する予定。具体的に、がんサポートブックの改定作業と療養場所ガイドの作成を行なうこととなる予定。広報活動ワーキングメンバーが中心となって作成する方針。 <p>4) チェックリストワーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター活動のPDCAサイクルを確保し、県内全体のがん相談支援

の機能強化と質向上を目指すため、実施評価表チェックリストを作成し運用を開始する。

・各拠点・推進病院で評価した内容をまとめ、県内の現状を把握し課題を明らかにする。各病院でチェックリストとアンケート (添付資料参照) に記入の上、平成29年1月31日までに塩見氏 (愛大) に提出する。チェックリスト (案) の項目や評価方法、結果の共有などについて検討・意見集約した。修正版を塩見氏から各病院担当者へメールで配信する。

5. 仕事と治療の両立支援促進員による就労相談の案内 (添付資料参照)

以上

がん相談支援センター

どなたでも にご相談ください となことでも

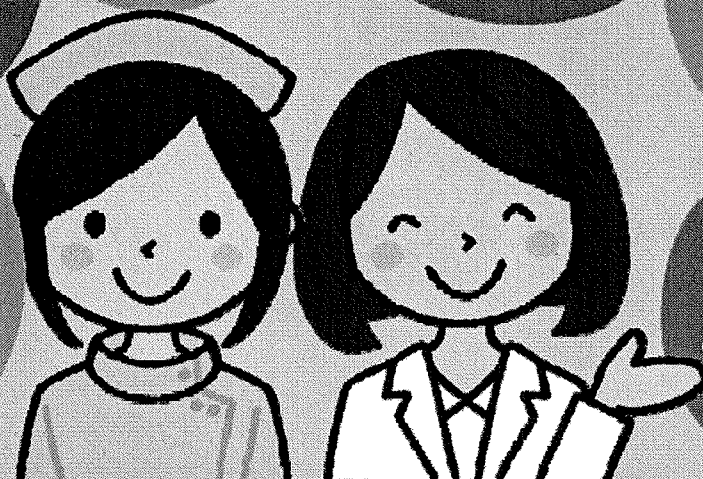
『がん相談支援センター』は、
がんに関する
相談窓口です

患者さん、ご家族
地域の方
どなたでも
ご利用できます

がんに関する
疑問や不安など
相談内容は
問いません

全国の
がん診療連携拠点病院
などに設置されて
います

あなたのまちの
病院内に設置
されています
コチラです
↓↓↓



電話や面談で
対応いたします
ご相談は無料です
秘密は厳守します

がん診療連携拠点病院

がん診療連携推進病院

四国がんセンター	089-999-1114	松山市民病院	089-913-0081
愛媛県立中央病院	089-987-6270	済生会松山病院	089-951-6111
松山赤十字病院	089-926-9516	愛媛労災病院	0897-33-6199
住友別子病院	0897-37-7133	十全総合病院	0897-33-1818
済生会今治病院	0898-47-2571	済生会西条病院	0897-55-5392
市立宇和島病院	0895-25-1111	四国中央病院	0896-58-2118
愛媛大学医学部 附属病院	089-960-5918	HITO病院	0896-29-5320
	089-960-5261	市立八幡浜総合病院	0894-24-2568

平成28年7月現在

看護師 ソーシャルワーカー がご相談をお受けします

お近くの『がん相談支援センター』にご相談下さい

愛媛県がん診療連携協議会

～就職・転職を考えている方へ～

「働きたい！」がん患者さんをサポートします

毎週水曜日10:00～15:00

患者・家族総合支援センター **暖だん** で

ハローワーク松山の就職支援ナビゲーターが無料で就職相談を行っています！



—みんなの疑問とナビゲーターができること—

Q.治療中でも就職できますか？



A.現在の治療状況と今後のスケジュールを確認した上で、あなたに負担の少ない職業・職場選びをお手伝いします

Q.履歴書に病名を書いたほうがいいのか？



A.必ずしも病名を書く必要はありません相手に伝えたいこと(伝えるべきこと)を誤解なく伝えるための工夫も含めて履歴書記入のポイントをアドバイスします



Q.面接で病気のことをどこまで話したらいいの？

A.まずは自分のことを見つめ直すことから始めましょう その上であなたの経験やアピールポイントを一緒に整理していきます

相談者の声

『働く勇気が出ました』
『今の自分に自信ができました』

※求人情報は **暖だん** で自由にご覧になれます

《お問合せ》

四国がんセンター 患者・家族総合支援センター **暖だん**

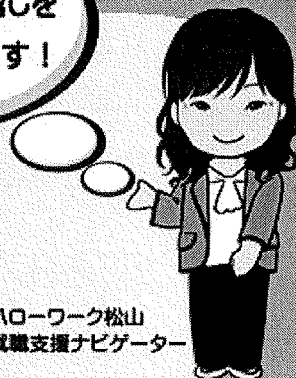
☎089-999-1209

ハローワーク松山

☎089-917-8618

※事前に電話でご予約いただくと、ご相談がスムーズです

みなさまのお越しを
お待ちしております！



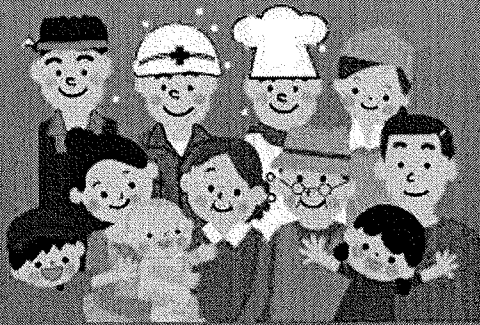
ハローワーク松山
就職支援ナビゲーター

社会保険労務士による就労相談

がん患者さんの

“働く”

を応援します！

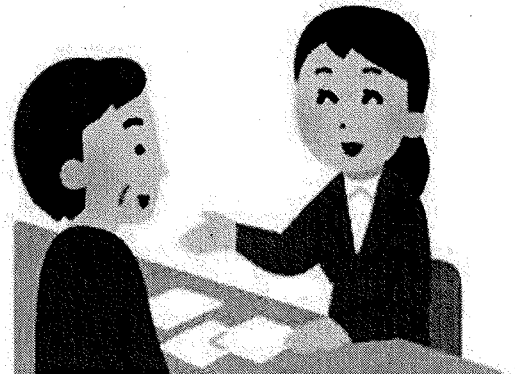


治療のための休暇や休職
はどうすればいいの？

治療や休職をするのに、
利用できる保険・手当金
などはありますか

障害年金の支給は
受けられますか

治療を受けながら無理せず
働きたいが、短時間勤務は
できますか



“働く”を支える専門家＝社会保険労務士が、
◇あなたの疑問にすばりお答えします◇



《対象》患者(労働者)さん、ご家族、企業のみなさま

《日時》毎月第3水曜日 10時～13時

《場所》患者・家族総合支援センター 暖だん

《問い合わせ》四国がんセンター患者・家族総合支援室

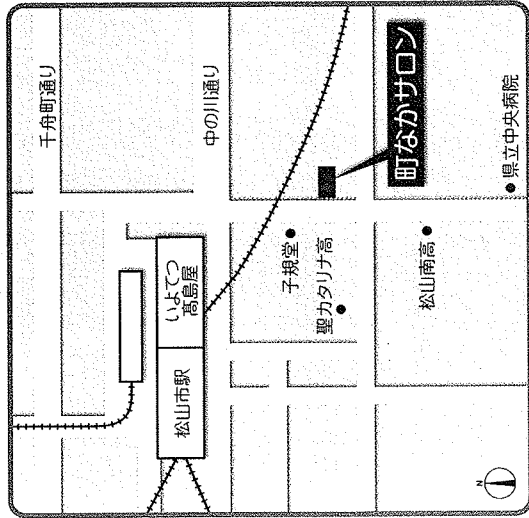
☎ 089-999-1209 (平日8時30分～17時15分)

悩みや疑問は人の数だけあります
人それぞれ異なっています
そしてそれは当たり前なのです
一人で悩まないで一緒に考えませんか？
お気軽にご相談ください

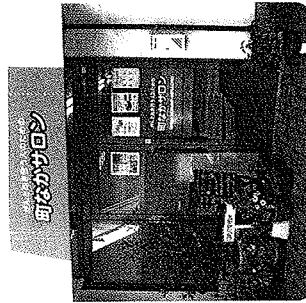
仕事とがん治療の両立をめざしてアクション!

キャリアコンサルタントによる

就労支援のご案内



松山市駅から県立中央病院方向へ 徒歩7分程度
〔子規堂向かい側〕



〈ご予約・お問い合わせ〉

TEL 089-997-7638

〈受付時間〉

月～金(年末年始・祝日を除く)午前10時～午後4時

町なかサロン

〒790-0023 愛媛県松山市末広町17-9 TEL・FAX 089-997-7638

<http://www.machinaka-orange.jp>

このサロンは、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会が、愛媛県からの助成金を受けて運営しています。

就労に関して不安や悩みは尽きません 迷っている方も

一緒に考えるところから始めませんか？

1 まず是一緒に確認しましょう

就労活動において
病歴を話さないと
いけないの？

応募書類(履歴書・
職務経歴書)は
どう書けばいいの？

就職面接時の
受け応え方の
ポイントは？

職場の人には
病気の事は
言いたくない
のだけれど...

いつ頃から
職務復帰
すればいいの？

2 確認ができたなら...

採用に向かって 心 スキル 環境 の準備をしましょう

“キャリア・
アンカー”
って何？

コミュニケーション
スキルの見直し・
ブラッシュアップ

キラリと光る
ビジネスマナー

ストレス
コーピング
って？

感じの良い
話し方・聴き方

“私の強み”
棚卸

ご利用方法は？

- 日 時：毎月第3日曜日(変更の場合あり)
平日午後1時～午後3時
(※日時については随時ご相談に依じます)
- 場 所：町なかサロン
- 参加費：無料
- 相談員：国家資格 キャリアコンサルタント
(家族として、がんと向き合った経験があります)
キャリアコンサルタントとは、厚生労働省が
認定する資格を取得した就労支援の専門家です

医療機関等での出張相談も行っています。

事前電話でご予約ください /
☎ 089-997-7638

町なかサロン

☎ 089-997-7638
受付時間：月～金(年末年始・祝日を除く)
午前10時～午後4時
〒790-0023 愛媛県松山市末広町17-9
TEL/FAX:089-997-7638
<http://www.machinaka-orange.jp>

愛媛県がん相談支援推進協議会 (2017.2.9)

小児がん関連資料

【報告】

1) 愛媛県における小児慢性特定疾患児の自立支援事業 (資料1)

第18回小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会[厚労省 社会保障審議会]

(H28.12.20)において、委員会後半で、自立支援事業に積極的に取り組んでいる3つの自治体から事業内容が報告された。その一つは愛媛県であり、当会の愛媛支部も関わる事業であるため紹介する。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000146626.html>

愛媛県における同支援事業の実施体制は、特定非営利活動法人ラ・ファミリエを中心とする「コンソーシアム」に委託する形になっている。(同NPO法人の前身は「愛媛ファミリーハウスをつくる会」で、H13~14年の発足当時、その事務局はいのうえ小児科の一隅にあった。)

このコンソーシアムは、小慢の改正で自立支援事業が取り上げられる以前から、WAM(独立行政法人福祉医療機構)の助成を受けて組織され活動を継続してきたが、愛媛支部からも、その一員として代表幹事が参加を続けてきた。

愛媛において特筆すべきことは、自立支援事業を「慢性疾患を乗り越えていく子どもたちのジョブプロジェクト」と位置づけ、自立支援員の配置やジョブサロンの設置に加え、委員会には関心を寄せる様々な企業の経営者がメンバーに名を連ねているところにある。

また愛媛大学教育学部の特別支援教育におけるエキスパートのスーパーバイズのもと、院内学級の制度を補完するかたちで、大学(院)生が病弱児の学習支援の役割を担っているところも

小児がん患者、経験者も本支援事業の恩恵に預かっている。成人した小児がん(脳腫瘍)経験者は、このジョブサロンのスタッフから大きな支援を受けて、チャレンジを続けている。入院中の学習の遅れを取り戻すために、退院後の学習支援を受けるケースもある。

2) 愛媛大学医学部附属病院小児科における小児がん患者の死亡例に関する検討結果について

(資料2)

資料は、2000年1月1日から2014年12月31日までの15年間に診療を開始した小児がん患者の死亡例について検討した結果である。小児がん患者・家族に還元すべきと判断された、同小児科(血液腫瘍グループ)の許可を受けて供覧する。

【話題提供】

1) 小児がんへの支援を目的にした「バナナ募金」(島根県)について (資料3)

愛媛県においても、県議会のがん対策推進議員連盟の発案で、「小児がん募金活動」の構想があるが、島根県の実例を紹介する。

このバナナ募金は、がん対策募金として、約3年で2200万円を集めた実績があるが、新たに小児がんに特化した募金として、約2年をかけて目標額を1000万円に設定して実施される。ファミリーハウスの役割を果たす施設や、病室・学習ルームの環境整備などを中心に、島根県内の病院などで活用される予定である。

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について

愛媛県

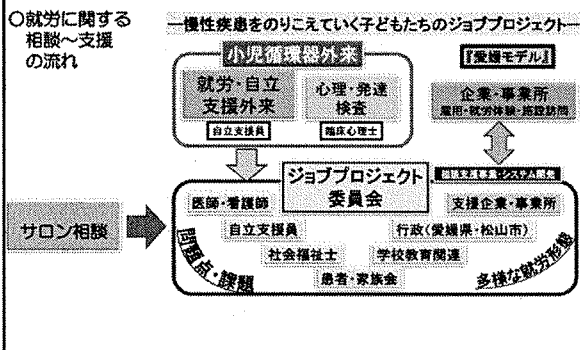


○実施体制

- ・ 特定非営利活動法人ラ・ファミリエを中心とする
コンソーシアムに委託
- ・ ジョブサロン 及び 自立支援員 の設置
- ・ ジョブプロジェクト委員会にて検討

小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業

○就労に関する
相談～支援
の流れ



『慢性疾患をのりこえていく子どもたちのジョブプロジェクト』



○実施事業

(相談支援)

- 1 ジョブサロンでの相談
- 2 愛媛大学医学部附属病院小児科外来面談室にて出張相談

(相互交流支援)

- 3 嬉っこすくすく愛キャンプ
- 4 サロン交流会 (親の会同士の交流、定期交流会)

(就職支援)

- 5 こどもの夢プロジェクト～こどものいのちを守るお仕事体験～
- 6 職業体験・見学 (カフェ、病院)
- 7 職能研修 (パソコン研修、マナー研修)

(その他自立支援)

- 8 学習支援
- 9 きょうだい支援 (ピザ作り体験、講演会)
- 10 成果報告会～就労に関するシンポジウム～

①死亡例の疾患別検討

対象

2000年1月1日から2014年12月31日までの15年間に愛媛大学医学部附属病院小児科で診療を開始した小児がん症例

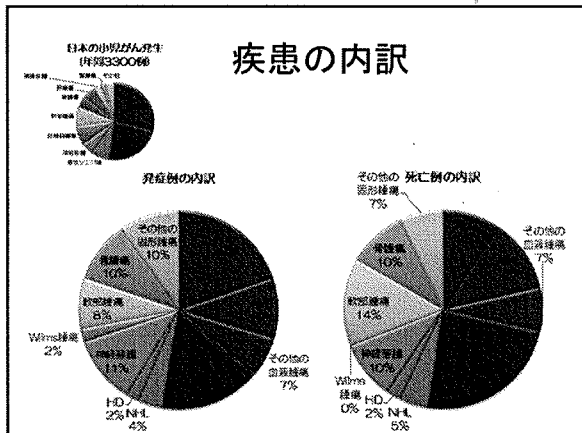
方法

後方視的にカルテを調査し、死亡例の年齢、性別、疾患名、死亡原因等を調査した。

結果

	小児がん全体	死亡群
患者数	182	42(23.1%)
診断時年齢(歳)		
平均	8.1	9.5
中央値	8.4	10.2
観察期間(年)		
平均	5.2	1.8
中央値	4.1	1.5
性別		
男性	93(51.1%)	22(52.4%)
女性	89(48.9%)	20(47.6%)

疾患の内訳



疾患別死亡率

	発症数	死亡数	死亡率(%)
ALL	36	4	11.1
AML	18	5	27.8
その他の血液腫瘍	12	3	25.0
脳腫瘍	30	10	33.3
非ホジキンリンパ腫	7	2	28.6
ホジキンリンパ腫	4	1	25.0
神経芽腫	20	4	20.0
Wilms腫瘍	4	0	0.0
軟部腫瘍	15	6	40.0
骨腫瘍	18	4	22.2
その他の固形腫瘍	18	3	16.7

疾患別死亡原因

	死亡原因 No(%)		
	原病死	治療関連死亡	不明
全体	29(69.0)	10(23.8)	3(7.1)
白血病/MDS	4(33.3)	7(58.3)	1(8.3)
脳脊髄腫瘍	8(80.0)	1(10.0)	1(10.0)
悪性リンパ腫	3(100)	0	0
神経芽腫	2(50.0)	1(25.0)	1(25.0)
軟部腫瘍	5(83.3)	1(16.7)	0
骨腫瘍	4(100)	0	0
その他の固形腫瘍	3(100)	0	0

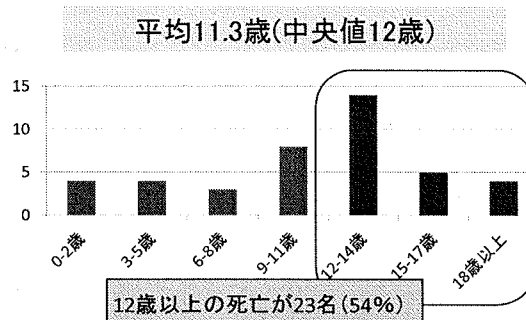
考察①

15年間で42例の死亡を経験し、疾患別の死亡率では脳腫瘍、軟部腫瘍で高率であった。特に脳腫瘍は発症数、死亡率ともに高く、脳腫瘍の予後を改善することが小児がん診療上の重大な問題と考えられた。

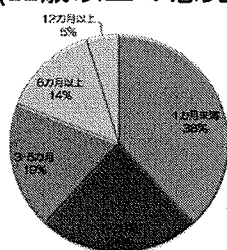
②年長児の死亡例における検討

死亡例の多くを占める年長児の小児がん患者におけるEnd-of-life期の現状を把握するため、検討を行った。

死亡時年齢

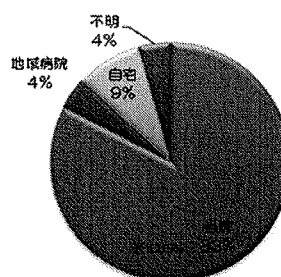


余命宣告から死亡までの期間 (12歳以上の患儿)



0.0-21.6か月, 平均3.9か月(中央値2.3か月)

死亡した場所



考察②

中高生以上の小児がん患者においては‘知る権利’やEnd-of-life期の過ごし方に関わる‘意思決定権’を考慮すべきである。しかし本人告知を行うには十分な配慮とサポート体制が必要であり、必ずしも患者および家族にとって良い結果とならない可能性も含む。医療者はこの期間を個々の患者とどのように向き合うか、家族および各種職種と十分に議論する必要がある。

まとめ

- 当院における小児がん死亡例について検討した。
- 脳腫瘍の治療成績の向上が望まれる。
- 死亡例の半数以上を占める中高生以上の患者のEnd-of-life期の過ごし方については、告知の問題も含め、症例毎に関係者間での十分な議論が必要である。

小児がん拠点病院の診療実績の概略 (H28年度現況報告書より)

	18才以下の初発診断例 (H27年1/1~12/31)			長期フォローアップ体制の構築	緩和ケアチームの設置 (総人数)	セカンドオピニオンの提供体制
	造血器腫瘍	固形腫瘍	(うち脳・脊髄腫瘍)			
北海道大学病院	15	41	16	○	○(17人)	○
東北大学病院	14	19	12	○	○(34人)	○
埼玉県立小児医療センター	53	30	7	○	○(16人)	○
成育医療研究センター	39	54	23	○	○(14人)	○
東京都立小児総合医療センター	37	39	17	○	○(19人)	○
神奈川県立こども医療センター	37	30	15	○	○(13人)	○
名古屋大学医学部附属病院	33	84	23	○	○(12人)	○
三重大学医学部附属病院	28	24	10	○	○(19人)	○
京都大学医学部附属病院	16	19	4	○	○(13人)	○
京都府立医科大学附属病院	8	32	9	○	○(37人)	○
大阪府立母子保健総合医療センター	43	25	2	○	○(11人)	○
大阪市立総合医療センター	26	31	13	○	○(11人)	○
兵庫県立こども病院	48	31	10	○	○(9人)	○
広島大学病院	24	35	17	○	○(11人)	○
九州大学病院	34	51	6	○	○(28人)	○
(H27年小児がん拠点病院合計)	455	545	184			
(参考: H23年合計、H26年合計)	(355、377)	(445、519)	(190、221)			
			1000			
			(800、896)			

	診療従事者の配置要件	キャンサーボードの定期開催	院内がん登録の実施	臨床試験・治療の件数	左記以外の臨床研究	相談支援センターの設置 (1年間の件数)	保育士の配置 (人数)	家族等が利用できる長期滞在施設
東北大学病院	○	○	○	20	5	○(1567件)	○(6人)	○(全18室)
埼玉県立小児医療センター	○	○	○	23	13	○(709件)	○(11人)	○(全5室)
成育医療研究センター	○	○	○	16	2	○(512件)	○(9人)	○(全21室)
東京都立小児総合医療センター	○	○	○	40	20	○(1090件)	○(13人)	○(全12室)
神奈川県立こども医療センター	○	○	○	18	19	○(437件)	○(17人)	○(全8室)
名古屋大学医学部附属病院	○	○	○	10	11	○(573件)	○(3人)	○(全12室)
三重大学医学部附属病院	○	○	○	24	7	○(403件)	○(1人)	○(全6室)
京都大学医学部附属病院	○	○	○	32	9	○(1269件)	○(3人)	○(全37室)
京都府立医科大学附属病院	○	○	○	107	16	○(134件)	○(8人)	○(全5室)
大阪府立母子保健総合医療センター	○	○	○	6	2	○(108件)	○(15人)	○(全12室)
大阪市立総合医療センター	○	○	○	26	0	○(387件)	○(6人)	○(全8室)
兵庫県立こども病院	○	○	○	20	8	○(265件)	○(6人)	○(全16室)
広島大学病院	○	○	○	23	5	○(87件)	○(20人)	○(全11室)
九州大学病院	○	○	○	20	0	○(562件)	○(2人)	○(全9室)